



浜松市中心市街地活性化基本計画(第3期)

計画期間: 令和8年4月～令和13年3月

【自治体の概要】 人口: 779,295人(うち中心市街地区域: 21,990人)(令和7年11月1日時点) 面積: 1558.11km²(うち中心市街地区域: 3.29km²)

- ・ 戦国時代には徳川家康の城下町として栄え、江戸時代には東海道の宿場町として商業・交通の拠点となった
- ・ 『やらまいか精神』と称される開放的で何事にも恐れず前向きに挑む市民気質のもと発展し、数多くの世界的企業を輩出
- ・ 現在は、徳川家康に代表される歴史的特性や起業家精神といった地域資源を活用し、グローバルクリエイティブシティを目指す

目指す中心市街地の都市像

歴史、文化、未来に触れ、豊かさを実感する世界水準のまち

中心市街地の課題

まちなか全体の回遊性向上と平日昼間のにぎわい創出

- ・ 年間を通じた休日イベントの開催により休日の歩行者通行量は増加したが、JR浜松駅周辺を中心に、そのにぎわいを平日昼間やまちなか全体へ広げていくことが求められる。

※歩行者通行量の状況(H15→R5): 平日▲38.7% 休日▲36.8%

※平日昼間の状況(H24→R3): 事業所数▲17.9%
従業者数▲7.9%

浜松市中心市街地活性化ビジョン(R8年度～R26年度)

10～20年後を見据えた中長期的なビジョン

ミッション: 使命・存在意義

未来へ紡ぐ “CREATIVE HUB”

多様な人の交流と、それによるイノベーションにより、地域経済の成長を支える「Glocal Creative City」の中心地

ビジョン: 理想の将来像

歴史、文化、未来に触れ、豊かさを実感する世界水準のまち

バリュー: 価値観・行動指針

みがく

はぐくむ

つなぐ

いどむ

中心市街地活性化の方針と目標・目標指標

【みがく】歴史・文化の継承と活用による魅力の向上

48事業(うち国支援38事業)

目標 来街者の増加 回遊性の向上

⇒目標指標 公共施設利用者数(7施設)

【基準値】1,492,986人(R6年度)→【目標値】1,648,000人(R12年度) [推計値1,612,670人]

⇒参考指標 まちなか滞在者数

【基準値】294,740人(R6年度)→【目標値】325,400人(R12年度)

主な事業 ハママツ・ジャズ・ウィーク開催事業、アクトシティ浜松施設整備事業



ハママツ・ジャズ・ウィーク

【はぐくむ】新たな投資とエリアマネジメントによる都心機能の増進

22事業(うち国支援9事業)

目標 民間投資の促進によるエリア価値向上 滞在空間の快適性の向上

⇒目標指標 低未利用地面積

【基準値】21,980.1m²(R6年度)→【目標値】17,223.0m²(R12年度) [推計値19,742.9m²]

⇒参考指標 まちなか滞在時間

【基準値】50.35分/日(R6年度)→【目標値】50.35分/日(R12年度)

主な事業 The GATE HAMAMATSU 跡地再整備事業



The GATE HAMAMATSU 跡地

【つなぐ】人々の暮らしを豊かにする価値の継承

16事業(うち国支援10事業)

目標 経済活動の活性化・雇用の創出 居住人口の増加・維持

⇒目標指標 新規出店数

【基準値】86件(R2～R6累計)→【目標値】95件(R2～R6累計) [推計値85件]

⇒参考指標 中心市街地の居住人口

【基準値】21,761人(R7年度)→【目標値】24,000人(R12年度)

主な事業 浜松市空き店舗利活用事業、リノベーション事業



空き店舗利活用事業にて改装した店舗

【いどむ】市民協働による新たな価値創出への挑戦

29事業(うち国支援15事業)

目標 交流人口の増加 コミュニティ活動の増加 若者世代が参画する活動の増加

⇒目標指標 まちなか公共空間利活用数

【基準値】70件(R6年度)→【目標値】81件(R12年度) [推計値74件]

⇒参考指標 中心市街地のスタートアップ創業者数

【基準値】10者(R6年度)→【目標値】10者/年(R12年度)

主な事業 軽トラはままつ出世市開催事業



軽トラはままつ出世市

目標達成に資する主な事業

来街者の増加／回遊性の向上

①ハママツ・ジャズ・ウィーク開催事業

「まちなかに音楽があり、音楽がまちをつくり出す」ことを目指し、公共施設、街角、公共空間や民間施設(ジャズクラブ等)で気軽にジャズが楽しめるイベントを開催し、回遊性の向上を図る。

【中心市街地活性化ソフト事業(総務省)】



ハママツ・ジャズ・ウィーク

②アクトシティ浜松施設整備事業

浜松市が目指す「音楽の都」の拠点施設である当該施設について、改修工事を行うことにより施設の安全かつ適切な運営を維持し、施設の利用促進を図る。

【中心市街地再活性化特別対策事業(総務省)】

③家康公ゆかりの地誘客イベント実施事業

2026年大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送を契機に、以前放送された大河ドラマ「どうする家康」や「家康公騎馬武者行列」の開催によって大きく高まった「家康公ゆかりの地」としての更なる認知度向上と来街者の増加を図るため、イベントを開催する。

【中心市街地活性化ソフト事業(総務省)】

民間投資の促進によるエリア価値向上／滞在空間の快適性の向上

④The GATE HAMAMATSU 跡地再整備事業

JR浜松駅から中心市街地のメインストリートである鍛冶町通りへの動線となる歩行空間として、また、中心市街地の都市機能に必要な憩いの場として更地を整備することで来街者の利便性向上およびイベント実施による回遊性向上を図る。

【中心市街地再活性化特別対策事業、中心市街地活性化ソフト事業(総務省)】



The GATE
HAMAMATSU 跡地

⑤賑わいワークショップ・実証事業

市や地元企業・団体の若手職員等が協力してワークショップを実施し、中心市街地の課題を整理するとともにアイデアを出し合う。それらを踏まえて持続可能な中心市街地の活性化に向けた事業提案を行い、実証事業を実施する。

【中心市街地活性化ソフト事業(総務省)】

経済活動の活性化・雇用の創出／居住人口の増加・維持

⑥浜松市空き店舗利活用事業

空き店舗を活用した小売店舗等の新規出店を促進するため、マッチングツアーの実施やテナント改装工事費の一部補助を行うとともに、支援対象店舗を先事例として活用し、新たな出店者の確保や中心市街地への誘客、商業機能の魅力向上を図る。



空き店舗利活用事業
にて改装した店舗

⑦建設のしごと体験イベント事業

子どもたちやその保護者に建設のしごとへの理解を深め、浜松市の建設業が将来の就職選択肢となることを目的に、「はままつ建設フェスタ」を実施する。

【中心市街地活性化ソフト事業(総務省)】

交流人口の増加 コミュニティ活動の増加／若者世代が参画する活動の増加

⑧中心市街地の情報を発信するオウンドメディアの開設事業

「中心市街地での各種事業実施を促進するため、利活用可能な公共空間や公共施設の情報を一元的に発信するオウンドメディアを開設・運営を実施する。

【中心市街地活性化ソフト事業(総務省)】

⑨軽トラはままつ出世市開催事業

鍛冶町通りにおいて軽トラックを活用した「市」を実施するとともに、キッチンカー販売やステージイベントを展開し、交流の創出やコミュニティ活動の促進を図ることで、公共空間活用に対する機運を高める。

【中心市街地活性化ソフト事業(総務省)】



軽トラはままつ出世市

